

「心・技・協」で風を起こします。

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



Download



年頭所感の時に職員の皆さんに話しましたが、健育会グループの2019年のスローガンは「健育会は、心（Mind）・技（Skill）・協（Collaboration）。皆で風を起こし、ビジョンを達成します！」としました。今回の理事長トークではこの「心・技・協」について、まとめたいと思います。

まずは「技（Skill）」です。以前より常々話していますが、医療・介護職は常に技術を向上させるために学び続ける必要があります。健育会では職員一人ひとりが能力向上をめざすのは医療・介護に携わる者として当然の義務であり、それをサポートするのが私の理事長としての役割であると考えています。そこで全職員の職務能力、医療の質、サービスの向上につながる様々な教育・研修の機会を設けています。常に成長を目指すのは大変なことですが、知識や技術の向上は患者さん・ご利用者のためになるだけでなく、職員皆さん自身の成長のためにもとても大切なことだと考えています。

その「技（Skill）」を支え全ての基盤となるのが「心（Mind）」です。「心（Mind）」とは、職員皆さんの「使命感」であり、プロフェッショナルが持つ「奉仕の心」です。ここでいうプロフェッショナルとは、高い技術と倫理観を持つ医療人のことを指します。「奉仕の心」は、人に対する思いやりを持って人のために尽くすことです。患者さん・ご利用者に「奉仕の心」を持って接することと、単にビジネスライクに接することには、結果的に大きな差が生まれます。特に我々のような医療介護に携わるものは、患者さん・ご利用者のお気持ちに寄り添うことができると、その行動の差は歴然と出てくると考えています。

最後に「協（Collaboration）」です。これは今の健育会グループにとって大切なワードです。技を磨き、奉仕の心を持って尽くしても、一人の力では限界があります。一人の患者さん・ご利用者に対して、複数の異なる職種の職員が連携・協働して治療やケアに当たるチーム医療は、「協（Collaboration）」の最たる例です。しかしチーム医療は他の病院施設でもやっていることであり、一般的なものです。健育会グループでは、チーム医療をさらに深化し、職員の皆さんや院長・ディレクターが一つになって患者さん・ご利用者の「人間の尊厳」を取り戻し、患者さんご本人やご家族に安心を超えた「感動」を覚えていただけるような、究極の「協（Collaboration）」を実現していきたいと考えています。その感動こそ、風となっていくのです。

技 (Skill)

+

協 (Collaboration)

心 (Mind)

そしてこの究極の「協（Collaboration）」を各病院・施設で実現していくためのキーマンはディレクターだと私は考えています。

ディレクターは全てのクライアントに平等に目線を合わせていくことが大切ですが、その中でも職員の皆さんが心から自分たちの病院・施設理念に共感し、やる気を持ち互いに協力し合いながら仕事に取り組めるよう、努めてほしいと考えています。そして、チームのリーダーとして、これまで以上に職員のみなさんと一緒に問題解決に向けて考え行動してほしいと考えています。

今年は「心（Mind）・技（Skill）・協（Collaboration）」で皆で風を起こして、ビジョンを達成し、70周年に向かって羽ばたいていきたいという思いを、スローガンに込めました。

この週末は2019年になって初めてグループで集う場となるTQM活動発表セミナーが開催されます。発表を行う皆さんの準備も佳境を迎えていると思いますが、TQMのようなチーム活動においても「心・技・協」の観点で頑張してほしいと考えています。



健育会は、心・技・協。
皆で風を起こし、ビジョンを達成します！